

大学コンソーシアム富山 令和6年度「とやま地域学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和6年度共同授業科目「とやま地域学」
実施機関	富山国際大学（担当教員：助重雄久 富山国際大学 現代社会学部教授）
趣旨・目的	富山の歴史文化や産業・生活などを理解し、富山の今後の地域づくりについて考える。
開催日時	令和6年8月23日(金)、26(月)～28(水)の4日間
開催場所	富山国際大学呉羽キャンパスE館701室(8/23、26、27) 富山県農協会館801号室(8/28)
参加人数	学生45名 【内訳】・富山大学18名 ・富山県立大学15名 ・高岡法科大学1名 ・富山国際大学11名
事業内容	【令和6年度概要】 今年度の「とやま地域学」は、「富山のいまと未来を考えるⅠ・Ⅱ」「富山の伝統を未来に活かす」「富山の自然を守り、未来に活かす」「富山のまちの歴史を振り返るⅠ・Ⅱ」の4つのテーマを設定し、富山の魅力を再発見するとともに、今後の地域づくりに活かしていくことを目的に企画・実施しました。 今回の集中講義を通して、富山の魅力を地域・社会に伝えていく人が増えることを願い、来年度も講義を実施していきたいと思っております。 【第1日目：8月23日(金)】 ① 受付（出席確認・資料配布）(9:10～9:30) 学長挨拶 (富山国際大学学長 高木 利久) (9:30～10:00) 授業ガイダンス・日程等に関する説明 (富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久) (10:00～10:40) ② データから見る富山の生活と産業 (富山国際大学現代社会学部准教授 大谷 友男) (10:50～12:20) ③ 富山の観光は総力戦！ (富山県理事・観光振興室長 宮崎 一郎 氏) (13:10～14:40) ④ 富山のクマ 変化する分布と生態 (富山県立山カルデラ博物館主任学芸員 白石 俊明 氏) (14:50～16:20) 【第2日目：8月26日(月)】 ⑤ 体験型講義 富山の組子 一組子細工を通じて、地域文化の継承と発展について考えるー (株式会社河島建具専務 河島 亜紀 氏) (9:10～10:40) ⑥ 祭りや古民家が繋ぐ、人、モノ、文化 (越中祭青年会発起人 五十嵐 友輔 氏) (10:50～12:20) ⑦ 城端人として生きる (城端蒔絵十六代 小原 治五右衛門 氏) (13:10～14:40) 【第3日目：8月27日(火)】 ⑧ デジタル化で黒部峡谷の安全、人の安全を守る (大高建設株式会社代表取締役社長 大橋 聡司 氏) (9:10～10:40) ⑨ 立山黒部の自然とその多様性

- (富山県立山カルデラ博物館学芸課長 飯田 肇 氏) (10:50~12:20)
- ⑩ 富山の暮らしと豊かな水
(富山国際大学名誉教授 尾畑 納子 氏) (13:10~14:40)
- ⑪ 富山市街地の歴史をたどる (レクチャー)
(富山市郷土博物館館長 坂森 幹浩 氏) (14:50~16:20)

【第4日目：8月28日(水)】

- ⑫ 知事と語ろう 富山の未来
(富山県知事 新田 八朗 氏) (9:10~10:40)
- ⑬ 富山市街地の歴史をたどる (フィールドワーク) (10:50~12:20)
- ⑭ 富山市街地の歴史をたどる (グループ発表) (13:10~14:40)
(富山市郷土博物館館長 坂森 幹浩 氏)
- ⑮ まとめ、課題提出について (14:50~16:20)
(富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久)

1 日目
富山のクマ



2 日目
組子細工の体験



3 日目
フィールドワークに向けて



4 日目
富山県知事との交流



大学コンソーシアム富山 令和6年度「AIによる人間情報解析」実施報告

事業名	単位互換 共同授業科目 「AIによる人間情報解析」
実施機関名／ 担当教員	富山県立大学 担当教員：情報工学部データサイエンス学科 高野 博史 准教授
趣旨・目的	人工知能（AI）のしくみ、生体情報の計測や解析に関わる幅広い知識を修得し、人間情報解析とAIの関係について理解を深める。
開催日時	令和6年8月29日（木）9時40分～17時00分 8月30日（金）9時40分～17時00分
開催場所	大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室2
参加人数	32名 【内訳】学生：富山大学11名、富山高等専門学校8名、富山県立大学3名 一般：4名 教員：5名（講師4名、担当教員1名） 職員：1名
事業内容	【8月29日（木）】 ①ガイダンス／人間情報計測・解析の基礎（9：40～11：10） （講師：富山県立大学情報工学部データサイエンス学科 准教授 高野 博史） ②AIの仕組み（11：20～12：50） （講師：富山県立大学情報工学部データサイエンス学科 准教授 高野 博史） ③手の動きの情報処理とパターン認識（13：50～15：20） （講師：富山県立大学情報工学部知能ロボット工学科 講師 中井 満） ④パターン認識実践（15：30～17：00） （講師：富山県立大学情報工学部知能ロボット工学科 講師 中井 満） 【8月30日（金）】 ⑤生体個人認証と感情推定技術（9：40～11：10） （講師：富山県立大学情報工学部データサイエンス学科 准教授 高野 博史） ⑥脳情報計測とブレイン・マシン・インターフェース（11：20～12：50） （講師：富山県立大学情報工学部知能ロボット工学科 准教授 森重 健一） ⑦デジタル技術によるヒトの見守り・ヘルスケア（13：50～15：20） （講師：富山県立大学情報工学部情報システム工学科 教授 唐山 英明） ⑧AIに基づくヒューマン・センシング技術とその応用（15：30～17：00） （講師：中京大学工学部 教授 橋本 学）

講義の様子



大学コンソーシアム富山 令和6年度「SDGs 入門」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和6年度単位互換開講科目 「SDGs 入門」
実施機関名	富山大学 木村 元（富山大学非常勤講師）
趣旨・目的	この科目では、SDGs（sustainable development goals）という、2015年9月25日、第70回国連総会において採択された「持続可能な開発のためのアジェンダ2030」の内容を学びます。「持続可能な開発目標」（SDGs）とされているのは、17の目標に当たります。この全体像を把握し、これからの日本や世界を生きて行くみなさんにSDGsを意識した「ものの見方」を身につけてもらいたいと意図しています。 とくに、“共通言語”としてのSDGsの性質に注目して、将来、文系／理系を問わず異分野の仲間達と、社会問題解決に向けた対話をするための基礎を身につけて頂くことを目指します。また、SDGsに向けて挑戦をつづける実務者2名（※）によるゲスト講義2回をとおして、現場の最新動向をお伝えするとともに、将来の職業選択（大学で何を学べば良いのか等）の参考として頂くことも念頭においております。
開催日時	令和6年8月20日（火）、8月21日（水）、8月22日（木） 8月29日（木）、8月30日（金）
開催場所	富山大学五福キャンパス
参加人数	学生54名 【内訳】・富山大学（49名） ・富山県立大学（2名） ・富山国際大学（2名） ・高岡法科大学（1名）

事業内容

【1日目：8/20（火）3限～5限】

1. インTRODakション／SDGsの概要（1）『開発途上国』とSDGs
2. SDGsの概要（2）『共通言語』としてのSDGs
3. SDGsの概要（3）技術・社会の『イノベーション』とSDGs

【2日目：8/21（水）1限～3限】

4. 課題とアプローチ（1）SDGsの課題（資金不足、トレードオフ）
5. 課題とアプローチ（2）ESG投資／環境・SDGs評価手法
6. 課題とアプローチ（3）SDGs事業（社会事業、社会起業）

【3日目：8/22（木）2限～3限】

7. グループ・ワーク（2）どのようにすればSDGsに貢献できるか？
8. 実務者ゲスト講義（1）「企業のサステナビリティ実現に向けた取り組みの変遷」

【4日目：8/29（木）1限～3限】

9. SDGsへの取り組み（1）民間企業（大企業、中小企業、スタートアップ）
10. SDGsへの取り組み（2）行政機関（政府、地方自治体）
11. 実務者ゲスト講義（2）「数理モデル&シミュレーションと社会課題解決」

【4日目：8/30（金）1限～4限】

12. SDGsへの取り組み（3）市民（消費者・労働者、NPO・NGO）
13. 社会システムとして捉える（エコロジカル近代化論、脱成長論）
14. グループ・ワーク（3）SDGsの達成に向けて何ができるか？
15. まとめ（この授業で学んだことの整理）

講義の様子



大学コンソーシアム富山 令和6年度「アカデミック・デザイン」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和6年度単位互換開講科目 「アカデミック・デザイン」
実施機関名	富山大学 松井 隆幸（富山大学経済学部）
趣旨・目的	地元企業の第一線で活躍されているゲストスピーカーの方々のお話を伺うことによって、様々な業界や仕事についての理解を深めます。 主に1年生を対象に将来の進路を考えるための情報提供と助言を行い、自らのキャリアをデザインするための手助けをしたいと思います。
開催日時	令和6年9月2日（月）、9月3日（火）、9月4日（水）及び 9月5日（木）、9月6日（金）、9月9日（月） 9月10日（火）のいずれか1日
開催場所	富山大学五福キャンパス
参加人数	学生140名 【内訳】・富山大学（132名） ・富山国際大学（4名） ・高岡法科大学（3名） ・富山高等専門学校（1名）

事業内容	【ゲストスピーカーによる講義】 9月2日（月） 2限 はじめに、㈱CK サンエツ（製造業・金属製品） 3限 ㈱スギノマシン（製造業・工作機械） 4限 アイシン軽金属㈱（製造業・自動車部品） 9月3日（火） 1限 ㈱トヨックス（製造業・産業用ホース） 2限 富山県庁（公務員・地方自治体） 3限 ㈱富山銀行（金融業・地方銀行） 4限 金森藤平商事㈱（卸小売業・専門商社） 9月4日（水） 1限 北陸コンピュータ・サービス㈱（サービス業・IT） 2限 YKK ㈱（製造業、ファスナー・建材） 3限 ㈱リッチェル（製造業・プラスチック製品） 4限 ㈱スズキ自販富山（サービス業・自動車販売）、振り返り 【県内企業訪問】 ①～⑫のうち、いずれか1つのコースに参加。 9月5日（木） ①富山県庁、㈱インテック ②北陸コンピュータ・サービス㈱、朝日印刷㈱ ③㈱ゴールドウイン、㈱富山銀行 9月6日（金） ④富山テレビ放送㈱、㈱北日本新聞社 ⑤北陸電力㈱、日本海ガス絆ホールディングス㈱ ⑥㈱能作、助野㈱ 9月9日（金） ⑦㈱富山村田製作所、KOKUSAI ELECTRIC CORPORATION、㈱国際電気セミコンダクターサービス ⑧㈱カジメイク、北陸コカ・コーラボトリング㈱ ⑨富山市役所、㈱北陸銀行 9月10日（火） ⑩富山県庁、あいの風とやま鉄道㈱ ⑪㈱カラフルカンパニー、㈱アスプコミュニケーションズ ⑫YKK㈱、㈱サンリッツ  県内企業訪問の様子 1
------	---



県内企業訪問の様子 2

大学コンソーシアム富山 令和6年度「データサイエンスの実践」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和6年度単位互換開講科目 「データサイエンスの実践」
実施機関名	富山大学 栗本 猛（富山大学教養教育院教授）
趣旨・目的	データを利活用するにあたっては，統計，コンピュータを用いたデータ処理，プログラミング基礎等の知識と技術が重要になる。本授業では必修科目である「情報処理」で学んだ IT 技術をベースとして，それをさらに発展させたデータサイエンスの基礎技術を身につけることを目標とする。
開催日時	令和6年9月2日（月）, 9月3日（火）, 9月4日（水）
開催場所	富山大学五福キャンパス
参加人数	学生40名 【内訳】・富山大学（38名） ・富山県立大学（1名） ・富山短期大学（1名）

事業内容

●第1日目 (9/2)

第1回 生成系 AI とその利用 (利用における注意, テキスト生成, 画像生成)

第2回 データサイエンスの概念と表計算ソフト を用いたデータ分析 (代表値, ヒストグラム, 箱ひげ図, 散布図, 相関係数, 回帰直線)

●第2日目 (9/3)

第3回 R によるデータ分析-1 (平均, 標準偏差, ヒストグラム)

第4回 R によるデータ分析-2 (散布図, 相関係数, 回帰直線)

第5回 R によるデータ分析-3 (主成分分析, クラスタ分析)

●第3日目 (9/4)

第6回 Python によるデータ分析-1 (平均, 標準偏差, ヒストグラム)

第7回 Python によるデータ分析-1 (散布図, 相関係数, ヒートマップ)

第8回 Python によるデータ分析-2 (主成分分析, クラスタ分析)

講義の様子



大学コンソーシアム富山 令和6年度「航空機入門」実施報告

事業名	単位互換 共同授業科目 「航空機入門」
実施機関名／ 担当教員	富山県立大学 担当教員：工学部機械システム工学科 坂村 芳孝 教授
趣旨・目的	航空機のしくみや開発、生産等、航空機の技術と製造に関わる幅広い知識を習得し、航空機製造業や航空機運送事業について理解を深める。
開催日時	令和6年8月26日（月） 13時50分～17時00分 8月27日（火） 9時40分～17時00分 8月28日（水） 9時40分～12時50分
開催場所	大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室2
参加人数	28名 【内訳】 学生：富山大学16名、富山高等専門学校1名 一般：4名 教員：6名（外部講師5名、担当教員1名） 職員：1名
事業内容	【8月26日（月）】 ①Leonardo から Wright Brothers へ（13：50～15：20） （講師：富山県立大学 客員教授、 富山県航空機産業アドバイザー 戸田 信雄） ②飛行機構造設計（15：30～17：00） （講師：元三菱重工株式会社 主幹技師 坂川 亨） 【8月27日（火）】 ③航空機部品生産の現場（9：40～11：10） （講師：株式会社石金精機 代表取締役 清水 克洋） ④宇宙ロケットの基礎（11：20～12：50） （講師：富山県立大学 客員教授、 富山県航空機産業アドバイザー 戸田 信雄） ⑤飛行の原理－揚力と抗力（13：50～15：20） （講師：富山県立大学工学部機械システム工学科 教授 坂村 芳孝） ⑥飛行力学の基礎（15：30～17：00） （講師：富山県立大学工学部機械システム工学科 教授 坂村 芳孝） 【8月28日（水）】 ⑦エアラインにおける航空機の整備（9：40～11：10） （講師：全日本空輸株式会社 整備センター技術部 構造技術チーム 山本 大輔） ⑧航空機に関する最新の研究トピック（11：20～12：50） （講師：富山大学工学部 シニアアドバイザー 松島 紀佐）

講義の様子



大学コンソーシアム富山 令和6年度「時事的問題」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和6年度単位互換開講科目 「時事的問題」
実施機関名	富山大学 高山 龍太郎（富山大学経済学部教授）
趣旨・目的	・ 世界や日本社会が抱える各分野の課題について理解する。 ・ 課題認識と考察を踏まえ、将来自分が何をすべきかを考え、自己認知力を養う。 ・ 学ぶということとは何か、大学在学中に何をすべきかを考えるきっかけを得る。
開催日時	令和6年9月20日（金）、9月26日（木）、9月27日（金）、28日（土）
開催場所	富山大学五福キャンパス（9月20日は遠隔授業）
参加人数	学生 96名 【内訳】・富山大学（91名） ・ 富山県立大学（2名） ・ 富山国際大学（2名） ・ 高岡法科大学（1名）
事業内容	< 1日目 9月20日（金） > （講師：株式会社 HI イニシアティブ代表取締役、NPO 法人 CeFIL デジタルビジネスイノベーションセンター共同代表・西野弘，株式会社 トリエス エグゼクティブディレクター・佐藤真悟） 第1回（3限）ガイダンス、授業の目的と期待、現代社会と日本の課題、スマート・スモール・ネーションズから学ぶ 第2回（4限）大学で何を学ぶか、日本の大学や教育の現状と結果、組織・集団の特性 < 2日目 9月26日（木） > （講師：国際ケアシステム（株）代表取締役社長・グスタフ・ストランドル，佐藤慎吾） 第3回（3限）日本と世界の福祉と高齢者介護 第4回（4限）ウェルビーイング 第5回（5限）グループワーク：外国人留学生を増やすには？ < 3日目 9月27日（金） > （講師：佐藤慎吾、西野弘，グスタフ・ストランドル、ウクライナ特命全権大使セルギー・コルスンスキー博士） 第6回（1限）グループワーク結果のプレゼンテーション

第7回（2限）これからの社会、マインドチェンジと DX によるイノベーション

第8回（3限） パネルディスカッション

第9回（4限）ウクライナ大使特別講義「ウクライナの歴史・文化・戦争・地政学」、学生との質疑応答

第10回（5限）特別講義の振り返り

< 4日目 9月28日（土） >

（講師：株式会社ビジネスリファイン代表取締役・大野祐子，西野弘，
富山大学経済学部教授・高山龍太郎）

第11回（1限）これからの時代のキャリア形成

第12回（2限）ゲームを通じてSDGs（持続可能な開発目標）の複雑さを実感する

第13回（3限）子どもの睡眠障害と DX による自己管理

第14回（4限）パネルディスカッション

第15回（5限）まとめとレポート執筆



第9回のウクライナ全権特命大使による特別講義



第12回のゲームの様子

大学コンソーシアム富山 令和6年度「富山とくすり」実施報告

事業名	単位互換 共同授業科目 「富山とくすり」
実施機関名／ 担当教員	富山県立大学 担当教員：工学部医薬品工学科 中島 範行 教授
趣旨・目的	くすりの歴史、製造、開発に関わる幅広い知識を習得し、くすりの働き（剤形、DDS、作用機序等）について理解を深める。
開催日時	令和6年9月24日（火）9時40分～17時00分 9月25日（水）9時40分～17時00分
開催場所	大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室1
参加人数	29名 【内訳】学生：富山大学10名、富山県立大学4名、高岡法科大学1名、 富山短期大学5名 教員：8名（講師7名、担当教員1名） 職員：1名
事業内容	【9月24日（火）】 ①ガイダンス/くすりの富山県（9：40～11：10） （講師：富山県薬事総合研究開発センター 次長 長谷川 千佳） ②医薬品の設計や合成と構造－活性相関（11：20～12：50） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 講師 濱田 昌弘） ③微生物や酵素とくすり（13：50～15：20） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 教授 米田 英伸） ④くすりをつくる（15：30～17：00） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 教授 中島 範行） 【9月25日（水）】 ⑤ナノテクノロジーとドラッグデリバリーシステム（9：40～11：10） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 教授 村上 達也） ⑥遺伝子とくすり（11：20～12：50） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 准教授 古澤 之裕） ⑦くすりが効くしくみとバイオ医薬品（13：50～15：20） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 教授 磯貝 泰弘） ⑧免疫を調節する医薬品～抗体医薬品とT細胞療法～（15：30～17：00） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 教授 長井 良憲）

講義の様子



大学コンソーシアム富山 令和6年度「富山の地域づくり」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和6年度単位互換開講科目 「富山の地域づくり」
実施機関名	富山大学 大西 宏治（富山大学人文学部教授）
趣旨・目的	1. まちづくりが国や地方公共団体によって、多面的に取り組まれていることを理解すること。 2. 富山市の取り組むまちづくりについて、理解を深めること。
開催日時	令和6年9月3日（火）, 9月4日（水）, 9月5日（木）, 9月6日（金）
開催場所	富山大学五福キャンパス
参加人数	学生75名 【内訳】・富山大学（60名） ・富山県立大学（15名）

事業内容

●第1日目 (9/3)

- 第1回 オリエンテーション：まちづくりとは？
- 第2回 立山黒部ジオパーク協会の取り組み
(都市デザイン学部准教授・安江健一)
- 第3回 富山県農業の現状と課題・今後の方向性について
(富山県農林水産企画課)
- 第4回 富山駅前サイネージを核とする賑わい創出
(ケーブルテレビ富山)

●第2日目 (9/4)

- 第5回 富山市の中心市街地活性化のとりくみ
(富山市まちづくり推進課)
- 第6回 富山市の環境政策と SDGs (富山市企画調整課)
- 第7回 選ばれる都市に向けた富山市の取り組み
(富山市広報課)
- 第8回 富山市における商工業振興
(富山市商工労政課、企業立地課)

●第3日目 (9/5)

- 富山のこれからを考えるワークショップ (スマートシティ推進課)
- 第9回 富山のこれからを考えるワークショップ (1)
- 第10回 富山のこれからを考えるワークショップ (2)
- 第11回 富山のこれからを考えるワークショップ (3)
- 第12回 富山のこれからを考えるワークショップ (4)

●第4日目 (9/6) ワークショップ発表会

- 第13回 ワークショップまとめ
- 第14回 発表会と相互評価
- 第15回 発表会と相互評価



ワークショップの様子



発表会の様子

大学コンソーシアム富山 令和6年度「富山学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和6年度単位互換開講科目「富山学」
実施機関名	富山大学 奥 敬一（富山大学芸術文化学部教授）
趣旨・目的	・富山の自然基盤の成り立ちと現状について理解し、産業やまちづくりとのつながり、防災の重要性などについて理解を深める。 ・フィールドワークや地域のひとびととの対話を通して富山の歴史的・文化的な成り立ちと現状について理解し、住環境や生活にみられる富山の価値に対する理解を深める。 ・富山県が持っている世界や日本の中での独自性・固有性を活かして、富山の将来像について日常の中で意識的に考え、行動できるような態度を培う。
開催日時	令和6年9月3日（火）、9月10日（火）、9月17日（火）、9月24日（火）
開催場所	大学コンソーシアム富山駅前キャンパス研修室1 五箇山合掌造り集落・立山室堂周辺
参加人数	学生45名 【内訳】 ・富山大学（28名） ・富山高等専門学校（8名） ・富山県立大学（7名） ・富山国際大学（2名）

事業内容	< 1 ～ 3 回 9 月 3 日（火） 1 限～ 3 限 > 1. ガイダンス 講義全体の進め方、成績評価等についての解説 富山県の基礎情報；統計からみた富山 2. 富山の自然基盤（水循環） 立山連峰から富山湾に至る大きな水循環について理解し、富山の産業や生活と深く関わっていることを学ぶ 3. 富山の自然基盤（植生） 過去から現在にわたる富山の自然植生の変化と現況について解説し、緑地がグリーンインフラとして生活・住環境の維持に果たしてきた役割について理解する < 4 ～ 7 回 9 月 1 0 日（火） 1 限～ 4 限 > 4 ～ 7. 立山室堂および弥陀ヶ原でのフィールドワーク（立山の自然と景観を維持するための取り組みについて） 現地講師：環境省 中部山岳国立公園 立山管理官事務所 国立公園管理官 8:45 富山大学五福キャンパス出発 立山室堂等で 4 時間程度見学 16:30 富山大学五福キャンパス到着 < 8 ～ 1 1 回 9 月 1 7 日（火） 1 限～ 4 限 > 8 ～ 1 1. 五箇山フィールドワーク 庄川流域現地見学 世界遺産五箇山合掌造り集落でのフィールドワーク（世界遺産を維持するための取り組みと茅刈り体験）～砺波平野散村景観の文化的価値について 現地講師：五箇山自然文化研究会会員 8:45 富山大学五福キャンパス出発 五箇山等で文化遺産維持に関わる体験と見学 16:30 富山大学五福キャンパス到着 < 1 2 ～ 1 5 回 9 月 2 4 日（火） 1 限～ 4 限 > 1 2. ここまでの振り返り 9 月 1 0 ・ 1 7 日の回の事後学習、および 9 月 1 9 日のフィールドワークで学んだ内容について振り返る 1 3. 富山の歴史と生活文化（五箇山の世界遺産としての価値） 富山県内の自然環境に育まれた特徴的な生活文化の景観のうち、五箇山地域について解説する。 1 4. 富山の歴史と生活文化（扇状地の生活文化） 富山県内の扇状地平野に展開する特徴的な生活文化の景観のうち、砺波平野、黒部川扇状地について解説する。
------	--

15. 総括

レポートにもとづくグループディスカッションと「富山学」のまとめ



大学コンソーシアム富山 令和6年度共同授業科目
「実践経営学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和6年度共同授業科目 「実践経営学」
実施機関名	高岡法科大学 担当教員：法学部 八坂徳明 教授
趣旨・目的	経営学の「組織論」「戦略論」を主体に、将来のリーダーの役割を担う人材を育成する。 「組織論」では、社会人基礎力を鍛えて、組織のマネジメントを実践するための学びとリーダーの素養を身に付けるためのリベラルアーツを学ぶ。「戦略論」では、経営計画とPDCAについて、事例研究から学ぶ。
開催日時	令和6年9月2日（月）～9月6日（金）
開催場所	御旅屋セリオ 5階ホール 高岡市御旅屋町101
参加人数	学生計27名：富山大学（2名）・富山県立大学（4名）・富山国際大学（1名）・富山高等専門学校（2名）・高岡法科大学（18名）
事業内容	第1回 ガイダンスー社会人基礎力とは何か、戦略目標のある生き方、リカレント教育と生涯学習 講師：オタヤ開発株式会社 代表取締役社長 藤田 衛治 氏 第2回 実践経営学とは何かー経営学「組織論、戦略論」、事例研究、リーダー育成プログラム 講師：オタヤ開発株式会社 代表取締役社長 藤田 衛治 氏 第3回 現代投資理論(MPT)で読み解く証券投資 講師：日本証券アナリスト協会 認定アナリスト 森田 徹 氏  藤田衛治社長の講義風景 第4回 地場産業、伝統工芸、デザイン、研究開発 講師：株式会社能作 代表取締役会長 能作 克治 氏 第5回 リベラルアーツ 講師：オタヤ開発株式会社 代表取締役社長 藤田 衛治 氏 第6回 クリエイティビティとコミュニケーション 講師：コトノオト 代表 上野 賀永子 氏



上野賀永子氏によるグループワーク
の講義風景

第7回 財務マネジメント

講師：中山経営財務コンサル 代表 中山 誠司 氏

第8回 ドラッカー マネジメント

講師：オタヤ開発株式会社 代表取締役社長 藤田 衛治 氏

第9回 キャリアデザイン

講師：大門社会保険労務士事務所 社会保険労務士 大門 充子 氏



大門充子氏によるグループワーク
の講義風景

第10回 中心市街地活性化とオタヤ開発の理念

講師：オタヤ開発株式会社 代表取締役社長 藤田 衛治 氏

第11回 コトラー マーケティング

講師：オタヤ開発株式会社 代表取締役社長 藤田 衛治 氏

第12回 生産管理理論

講師：三協・立山株式会社 元常務執行役員 内嶋 鍊一郎 氏

第13回 情報社会における組織防衛と有事即対応体制の実践法

講師：KMRクリエイティブスタジオ代表 木村 鷹弘

第14回 バーニー 資源ベースの戦略論

講師：オタヤ開発株式会社 代表取締役社長 藤田 衛治 氏

第15回 実践経営学まとめ

講師：オタヤ開発株式会社 代表取締役社長 藤田 衛治 氏



木村鷹弘氏による講義風景

大学コンソーシアム富山 令和6年度共同授業科目
「現代社会と法」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和6年度共同授業科目 「現代社会と法」(IT・AIと現代法制)
実施機関名	高岡法科大学 担当教員：法学部 森脇祥弘 教授
趣旨・目的	オンラインでのAIサービスの提供、コンテンツの生成、カード不正利用の検出、画像解析など個人からビジネス領域まで、高度な学習能力と推論能力を有する情報技術の活用可能性が広がっている。一方で、個々人の人格を推認させる情報が与り知れぬうちに収集分析評価され、差別・排除の対象とされたり、フェイクとは判別困難な情報の氾濫、更には映画等で予見された意思決定を無批判・無検証のうちに機械に依存することによる失敗、自律型兵器への懸念も現実のものとなりつつある状況である。こうした状況を踏まえ、AIなどITの発達の現状と将来見通し、その利活用を潜在するリスクを制御しつつ図って行くという視点から、その法的な課題と対応の方向性につき、県内外の知見を結集し学ぶ。
開催日時	令和6年8月26日(月)～8月30日(金)
開催場所	高岡法科大学 ミレニアムホール
参加人数	学生計51名：富山大学(1名)・富山県立大学(6名)・富山国際大学(2名)・富山高等専門学校(2名)・高岡法科大学(40名)
事業内容	第1回「ロボットに命を吹き込む人工知能 ～基礎から生成系人工知能まで」 講師：シャープ株式会社 亀井 俊之 氏 第2・3回「SF・SF映画が描き出したIT・AIの光と影」 講師：SF作家 浅尾 典彦 氏  浅尾典彦先生の講義風景 第4回「自律型兵器システムと国際法」 第5回「陸上自律型兵器システムの規制議論」 講師：京都産業大学 教授 岩本 誠吾 氏 第6回「無人海上システムと海戦法規」 講師：高岡法科大学 教授 吉田 靖之 氏  岩本誠吾先生の講義風景

第7回「A Iと情報法(総論)」

講師：新潟大学 教授 鈴木 正朝 氏

第8回「A Iと知的財産法」

第9回「A Iとフェイク情報」

講師：国立情報学研究所 教授 佐藤 一郎 氏



佐藤一郎先生の講義風景

第10回「A Iとビジネス」

講師：北陸先端科学技術大学院大学 教授 内平 直志 氏

第11回「A Iと司法」

講師：成城大学 教授 町村 泰貴 氏

第12回「A Iと人権」

講師：慶應義塾大学 教授 山本 龍彦 氏



山本龍彦先生の講義風景

第13回「A Iの『犯罪主体』性」

新潟大学 助教 根津 恍希 氏

第14回「国内外の準則策定状況」

総務省 情通流通行政局参事官 山野 哲也 氏

第15回「I T・A Iと経済法」

高岡法科大学 教授 沢田 克己 氏



山野哲也氏の講義風景

以上

大学コンソーシアム富山 令和6年度「とやまの食文化」実施報告

事業名	単位互換科目 共同授業科目「とやまの食文化」
実施機関名／ 担当教員(所属・職氏名)	富山短期大学 (担当教員：食物栄養学科 講師 中根一恵)
趣旨・目的	富山県に在住していても富山県が「食の宝庫」であることを知らない若者世代が多い。とやまの先人の知恵が育んできた食文化について、地形や自然環境を学習し、健康についての科学的な視点、食体験や実習、外部講師を招聘した講義より、各地域の食文化の成り立ちなどを具体的に知ることで、とやまの食の魅力について考える機会とする。意見交換、意見の発表を通して「今後、とやまの食文化を次世代にどのように伝えていったらよいか」について考え、とやまの食文化への興味関心、理解を深めることを目的とする。
開催日時	令和6年9月2日(月) 9時10分～14時40分 9月3日(火) 9時10分～14時40分 9月4日(水) 9時10分～14時40分
開催場所	場所：富山短期大学 F館205教室、106、108調理実習室 住所：〒930-0193 富山市願海寺水口444
参加人数	参加学生 27名 (受入れ許可32名) ＜内訳＞ 富山大学 7名 富山県立大学 5名 富山短期大学 15名
事業内容	【令和6年9月2日(月)】 第1回 ガイダンス (富山短期大学食物栄養学科講師 中根一恵) 食文化総論 (富山短期大学食物栄養学科講師 半田彩実) 第2回 とやまの食文化総論 (元富山短期大学食物栄養学科教授 稗苗智恵子氏)  第3回 とやまの魚、そのおいしさの秘密と健康性 (富山短期大学食物栄養学科教授 竹内弘幸) 

【令和6年9月3日(火)】

第4回 とやまの食と健康

(富山短期大学食物栄養学科准教授 藤田恭輔)



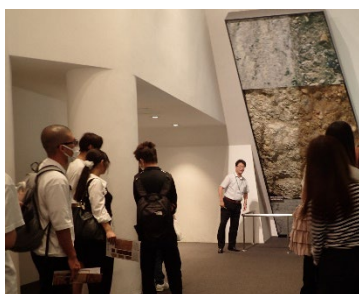
第5回 立山町芦峯寺の食について

(まんだら食堂 佐伯 照代氏)



第6回 立山の文化と歴史について学ぶ

(立山博物館学芸課長 奥澤真一郎氏)



【令和6年9月4日(水)】

第7回 とやまの郷土料理〔調理実習〕

(富山短期大学食物栄養学科講師 中根一恵)

(富山短期大学食物栄養学科講師 半田彩実)



第8回 ワークショップ



大学コンソーシアム富山 令和6年度「教養特別講座」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和6年度共同授業科目「教養特別講座」
実施機関	富山国際大学（担当教員：大谷孝行 富山国際大学 現代社会学部教授）
趣旨・目的	本講座では人間の笑いを様々な側面から考察し、笑いの特徴や奥深さについて理解するとともに、ままならぬ人生を前向きに前進する力を身につける。
開催日時	令和7年2月20日(木)・21日(金)・25日(火)・26日(水)の4日間
開催場所	大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室1
参加人数	学生19名 【内訳】・富山大学10名 ・富山県立大学2名・富山国際大学7名
事業内容	【令和6年度概要】 今年度の教養特別講座は、計15回の講義を通して笑いの理論・漫才・落語などを楽しみながら学ぶことを目的に実施いたしました。講義はコーディネータをはじめ、情報・国際・福祉関係の教員が担当し、笑いを様々な分野から見ることで幅広い知識を身につけることができました。 講義終了後のアンケートでは、総合評価4.7（5点満点）と高い評価になりました。次回以降の講義も多く多くの学生に満足してもらえるような講義をしていけるよう教職員一丸となり力を込めていきたいと思ひます。 【第1日目：2月20日(木)】 （講師：富山国際大学現代社会学部教授 大谷孝行） ① オリエンテーション、笑いを「笑いの理論」から理解する（9:10～10:40） ② 日本の芸能の理解を深める(1)（10:50～12:20） ③ 日本の芸能の理解を深める(2)（13:10～14:40） ④ 1日目の総復習（14:50～16:20） 【第2日目：2月21日(金)】 （講師：富山国際大学現代社会学部教授 大谷孝行） ⑤ 日本の芸能の理解を深める(3)（9:10～10:40） ⑥ 大阪の笑いについて学ぶ（10:50～12:20） ⑦ 人生におけるピンチと笑いについて考える（13:10～14:40） ⑧ 2日目の総復習（14:50～16:20） 【第3日目：2月25日(火)】 （講師：富山国際大学現代社会学部教授 大谷孝行） ⑨ 映画『男はつらいよ』に学ぶ人生観(1)（9:10～10:40） ⑩ 映画『男はつらいよ』に学ぶ人生観(2)（10:50～12:20） ⑪ 「老いと笑い」について考える（13:10～14:40） ⑫ 「幸福と笑い」について考える（14:50～16:20）

【第4日目：2月26日(水)】

- ⑬様々な学問分野から笑いを考える (1) (9:10～10:40)
(講師：富山国際大学現代社会学部准教授 Bogdan PAVLIY)
- ⑭様々な学問分野から笑いを考える (2) (10:50～12:20)
(講師：富山国際大学現代社会学部准教授 豊岡理人)
- ⑮様々な学問分野から笑いを考える (3) (13:10～14:40)
(講師：富山国際大学子ども育成学部教授 村上満)



(富山国際大学現代社会学部教授 大谷孝行)



(富山国際大学現代社会学部准教授
Bogdan PAVLIY)

(富山国際大学現代社会学部准教授 豊岡理人)



(富山国際大学子ども育成学部教授 村上満)

大学コンソーシアム富山 令和6年度単位互換開講科目
「災害救援ボランティア論」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和6年度単位互換開講科目 「災害救援ボランティア論」
実施機関名	富山大学 奥寺 敬（富山大学非常勤講師）
趣旨・目的	災害救援ボランティア育成のカリキュラムをコアに，富山県の災害と防災対策，富山大学の研究者による独自の研究内容などを加えて，地域防災においてリーダーシップを発揮できる人材となるための学修を提供する。
開催日時	令和7年2月12日（水），13日（木），14日（金），17日（月）
開催場所	富山大学五福キャンパス及び四季防災館
参加人数	学生 59 名 【内訳】・富山大学（49名） ・富山短期大学（8名） ・富山国際大学（2名）

事業内容	2月12日（水）
	第1回 災害救援ボランティアと危機管理医学 （富山大学非常勤講師 奥寺 敬 氏）
	第2回 災害ボランティア活動の基本 （災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野 次郎 氏）
	第3回 被災地での安全衛生とコミュニケーション （災害救援ボランティア推進委員会防災教育部長・社会福祉士 宮崎 賢哉 氏）
	第4回 災害時のリーダーシップとチームビルディング （災害救援ボランティア推進委員会防災教育部長・社会福祉士 宮崎 賢哉 氏）
	2月13日（木）
	第5回 災害時の医療救援活動 （富山県立中央病院救命救急センターセンター長 部長 若杉 雅浩 氏）
	第6回 富山県の防災対策 （富山県防災・危機管理課 課長補佐 早見 岳大 氏）
	第7回 災害時に求められるケア （富山大学医学系 伊井 みず穂 氏）
	2月14日（金）
	第8・9回 普通救命講習（AED含む）（富山市消防局）
	第10・11回 四季防災館にて講義・体験学習（四季防災館職員）
	2月17日（月）
	第12回 地形図から災害を予測する （富山大学人文科学系教授 大西 宏治 氏）
	第13回 自然について学び・深めて災害対策 （富山大学都市デザイン学系准教授 安江 健一 氏）
	第14回 大規模風水害の疑似体験 （富山大学都市デザイン学系准教授 安江 健一 氏）
	第15回 防災机上訓練 DIG 洪水ハザードマップの活用 （富山大学人文学系教授 大西 宏治 氏）



講義の様子



救命救急講習の様子